

10 公益財団法人名古屋市文化振興事業団

令和3年7月1日現在

設立年月日		昭和58年7月1日		代表者氏名		理事長 杉山 勝					
所在地		名古屋市中区栄三丁目18番1号				電話番号		052-249-9390			
ホームページアドレス		http://www.bunka758.or.jp/									
資本金・基本金		60,000千円		市出資・出捐金		30,000千円		(50.0%)			
所管部局		観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化振興室				電話番号		052-972-3172			
設立目的		名古屋市民の文化・芸術の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある市民文化の創造に寄与することを目的とする。									
主な事業	事業名		令和2年度 事業費		事業の概要						
	名古屋市文化施設の管理		1,462,301千円		文化施設等の運営管理（公益目的事業）						
	文化事業		315,975千円		文化事業の実施、支援、情報提供						
	名古屋市文化施設の管理		236,759千円		文化施設等の運営管理（収益目的事業）						
役職員数			常勤非常勤								
	役員数		2人		(うち市派遣) 0人		(うち市OB) 2人		9人		
	職員数		105人		(うち市派遣) 3人		(うち市OB) 0人		8人		
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)		6,348千円		正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)		5,806千円		正規職員平均年齢 (市派遣職員除く)		42歳	
			平成30年度		令和元年度		令和2年度				
市からの財政支出	委託料		736千円		2,255千円		842千円				
	内 随意契約金額		(736千円)		(2,255千円)		(842千円)				
	補助金		212,357千円		202,070千円		199,655千円				
	指定管理料		1,258,370千円		1,348,900千円		1,391,397千円				
	貸付金 (年度末残高)		0億円		0億円		0億円				
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益		2,179,420千円		2,195,222千円		1,921,602千円				
	経常費用		2,105,867千円		2,130,151千円		2,030,866千円				
	経常利益（損失）		73,553千円		65,071千円		▲ 109,264千円				
	当期利益（損失）		74,099千円		66,011千円		▲ 109,404千円				
貸借対照表	総資産		2,010,461千円		2,023,293千円		1,895,083千円				
	内 流動資産		(1,000,145千円)		(933,016千円)		(813,988千円)				
	内 固定資産等		(1,010,316千円)		(1,090,277千円)		(1,081,095千円)				
	総負債		689,067千円		636,323千円		617,933千円				
	内 流動負債		(407,002千円)		(372,170千円)		(353,933千円)				
	内 固定負債等		(282,065千円)		(264,153千円)		(264,000千円)				
	純資産（正味財産）		1,321,394千円		1,386,970千円		1,277,150千円				

経営に関する指標（共通指標）

10 公益財団法人名古屋市文化振興事業団

○法人の自立性		令和元年度	令和2年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	70.8%	82.8%	+12.1%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
		令和2年7月1日現在	令和3年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	8.3%	9.1%	+0.8%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	96.6%	97.1%	+0.5%
○組織運営の効率性		令和元年度	令和2年度	対前年度増減
管理費比率	$\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	1.1%	0.8%	▲0.3%
○財務の健全性		令和元年度	令和2年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	68.6%	67.4%	▲1.2%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	250.7%	230.0%	▲20.7%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	66.0%	70.1%	+4.1%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	0.0%	0.0%	0.0%
剰余金(欠損金)	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金・資本金}}{\text{ }} \right)$	1,326,970千円	1,217,150千円	▲109,820千円

○ 経営戦略計画（R2～R4）の概要

経営戦略方針
1. 名古屋の文化を育む基盤づくり 2. まちづくりの拠点となる劇場運営 3. 文化芸術を活用した豊かな社会づくり 4. 未来を見据えた文化活動の推進 5. 持続可能な財団運営 6. 幅広い領域の人材の育成

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	2 目標値	2 実績値
・市民一人ひとりの創造力を高める 市民が身近に文化に触れる機会を充実させるとともに、舞台制作や施設における活動支援等を通じて創造性あふれる人材を育成し、名古屋の文化を支える基盤を確かなものとしていきます 【鑑賞機会の充実】	文化事業の好評価率(事業部)(%)	89.5	88.8
	文化事業の入場率(事業部)(%)	83.0	81.2
・劇場を市民のひろばにする 長期育成型事業や地域団体・企業との連携、誰もが使いやすい施設の提供など、劇場が人やまちをつなげ、地域の方々の「ひろば」となることで、魅力あるまちづくりを進めていきます 【劇場の賑わいの創出】	中規模ホール利用率(%)	88.0	46.0
	文化小劇場ホール利用率(%)	91	61.7
・人と社会をつなげる懸け橋となる 文化芸術のもつ社会包摂機能を活用し、人と人や社会をつなげることで、名古屋市の市民力・地域力を向上させ、地域の活性化や社会的課題の解決を目指します 【文化芸術を享受する機会の提供】	アウトリーチ事業件数(件)	55	23
	子ども対象招待チケット枚数(枚)	600	193
・市民が輝く仕組みをつくる 市民の文化活動に関する情報収集・調査や発信、専門人材による評価・支援・企画を循環させ、長期的な視点に立った市民ニーズや社会動向を反映させた新たな文化芸術の推進体制を構築します 【戦略的な広報の充実・専門人材を活用した事業の展開】	ウェブサイトアクセス件数(件)	1,150,000	1,162,144
	イベント支援件数(件)	18	3
・確かな収入基盤をつくる 現状をより充実させることによる自主財源の確保に務めるとともに、市民のニーズを的確に捉えた新しい提案による増収を目指し、安定的な収入基盤を構築することで、持続可能な財団運営を図ります 【利用料金収入の確保・入場料収入の増収】	利用料金収入(千円)	485,200	243,602
	入場料収入(文化施設・事業部)(千円)	79,200	27,094
・能力を最大限に発揮できる環境をつくる 若い世代や女性の職員が積極的にチャレンジできる環境を整え、文化芸術に関する専門知識の習得だけでなく、人や文化をつなぐコーディネート能力の養成や職員として倫理意識の習得を目指し、全職員のスキルやモラルのアップを図ります 【専門性の高い職員の養成・職員全員が働きやすい環境づくり】	外部研修受講者数(人)	80	39
	年次休暇取得日数(日)	6	11.7